

課 題 名	研 究 内 容	研究期間	担当
農業労働力の安定確保に向けた調査研究	県内の労働力の活用状況を調査し、効率の良い組み合わせを検討することで、円滑な労働力確保につなげる。	R2～R5	経営流通担当
CBS利用による後継牛の育成最適モデルの構築	CBS(キャトルブリーディングステーション)の運用状況調査や利用者へのアンケート調査およびコスト評価を実施し、CBS利用に関する問題点を明らかにする。	R3～R5	経営流通担当
農作業中の安全対策向上に向けた経営的評価	生産現場におけるヒヤリハット事例等を調査し、安全対策を向上させるためのかかり増し経費等を考慮した経営指標を作成する。	R4～R6	経営流通担当
ミシマサイコ（2年栽培）の栽培体系・経営モデルの確立	薬用植物であるミシマサイコ（2年栽培もの）の現地栽培試験（摘心、採種）を行い、効率的な栽培体系を確立し、安定生産による経営の安定化を図る。	R3～R5	経営流通担当
「とくしまの伝統花き」産地の維持・再生に向けた経営モデルの設定	本県の伝統的な花き品目における複合品目や新規作型について労働時間や経済性を調査し、担い手確保に向けた複合経営モデルを作成する。	R3～R6	経営流通担当
果実の計画出荷を実現する貯蔵技術の確立	シャインマスカットの更なる収益性向上を図るため、年末年始の出荷や海外への輸出を可能とする長期貯蔵技術を開発する	R2～R4	経営流通担当
なると金時貯蔵技術の高度化に関する調査研究	既存のキュアリング庫を活用した出荷前の高温処理技術の確立と現場の作業体系に適合した高温処理条件について検討する。	R2～R4	経営流通担当
キュアリング処理を活用したEU向け「なると金時」の輸送技術確立事業	キュアリング処理を行ったなると金時について、輸送期間中の腐敗防止技術を検証する。	R4	経営流通担当